

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社フジコー		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 804-0011 福岡県北九州市戸畑区中原西2丁目18-12	
本票作成	部署名：総務室				
主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業		
事業の概要	①複合金属製品（ロール製品）の製造・販売・補修 ②複合金属製品（原料工程向製品）の製造・販売・補修 ③環境プラント製品の製造・販売・補修 ④操業関連作業 ⑤産業機械等の設計・製作・据付 ⑥光触媒製品の製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	山陽工場		岡山県浅口市鴨方町鳩ヶ丘1丁目1298番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度 (5 箇年度)				
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上 20~15% 15~10% 10~5% 5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	1.0 %		○
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 3 年度)		目標年度 (令和 8 年度)		
	3,831 t CO ₂		3,639 t CO ₂		
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 3 年度) の排出量	
	①	山陽工場		3,831 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 CPC母材重量+溶解重量(t)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		1.365 t CO ₂ / (t)	1.297 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

設備更新等によるエネルギー効率の向上などにより、省エネ法に基づく年1%以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者（本社）を中心とし、事業所におけるエネルギー管理者をリーダーとした管理体制を整備
- ・エネルギー管理者を中心とした省エネ推進会議を定期的に開催し、効率的な設備稼働を実施、検証及び省エネ立案、検討を行う。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
山陽工場	<ul style="list-style-type: none"> ・工場内高天井LED化（80台）（2017） ・3棟工場冷却ポンプのインバーター化（2017） ・社用車をハイブリット車に買い替え（2017） ・CPC溶解 保持時間短縮によるフル稼働（2018） ・省エネセンターによる省エネ診断の実施（コンプレッサー・冷却クーラーの更新検討）（2018） ・コンプレッサーの適正定格のものに更新（2019） ・事務所及び休憩室のエアコンを省エネタイプに更新（2019） ・デマンド契約を2,200kwから2,500kwへ変更し生産効率の改善（2019） ・工場棟の照明を全てLED化（309台）（2020） ・設備課電気室のエアコンを省エネタイプに更新（2021） ・可能な月は、CPCを昼夜連続操業を実施し、熱ロス回避を実施（2021）

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
山陽工場	<ul style="list-style-type: none"> ・CPC冷却水ポンプの適正化の実施（3台）による省エネ改善 ・2021年度同様、可能月においては、昼夜連続操業を実施し、熱ロスの回避の実施。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--